校友会上海支部例会報告

２０１６年3月５日

日本の４月初めは桜の舞い散るなかの新入学、新入社の時期。多くの国は９月が始まりだと思いますが、４月スタートというのは、四季のはっきりしている日本ならではの誇れる時季の分け方な気がします。よって、人事異動がおのずと多いのも今頃。はやり今年もこの時期にメンバーの中で上海を離れる方が２人おられます。

９１年中国語学科入学の松原美奈子さんは４月からシンガポールへ異動、

９２年フランス語学科入学の祖父江大輔さんは日本帰任に。

祖父江さんは残念ならが来られませんでしたが、松原さんを囲んで３月例会をおでんの美味しいお店「岳」にて執り行いました。



シンガポール異動の松原さん

松原さんは最近こそ仕事多忙のため例会の出席率はよくありませんでしたが、支部設立前から会計や色々な世話役をしてくれていたので、年配メンバーのアイドル的存在。彼女がいなくなって本当に寂しいですが、新天地シンガポールでまたさらにキャリアアップし、ますます活躍してくれることでしょう。



去る者があれば入る者もあり。今回の初出席は２人。



奥左が楊さん



手前右が落神さん

０１年英米語入学の落神啓太さん、そして０６年日本語入学楊彩虹さん。

彼女はその後ずっと日本在住で今回は京都外大留学生のＷｅＣｈａｔ（中国版ＬＩＮE）で今回の例会を知り、ちょうど実家へ帰る途中に上海に立ち寄り合流となりました。

賑やかワイワイの雰囲気にちょっとびっくりされたようですが、また機会があれば参加したい！ということでめでたく特別メンバー登録となりました。